

【巻頭言】

# 中垣先生と経営学部

——経営学部開設 20 周年・中垣昇先生退職記念号に寄せて——

中京大学経営学部長 吉田康英

中垣先生は 1940 年 5 月 14 日に岐阜市でお生まれになり、慶應義塾大学大学院博士課程を修了後、市邨学園短期大学を経て 1979 年 4 月に中京大学に着任されました。

中垣先生の研究業績は多岐に渡り、会計学や経営財務にて示される数値の世界にとどまることなく、その数値の裏側にある経営者の考え方や行動の実態調査までを含む、まさに生きた経営学全般に及んでいます。中垣先生による多くの実態調査の一端ではありますが、アジア通貨危機の直後の 2000 年に中垣先生、古田先生及び小職の 3 人で香港、クアラルンプール、タイ等の現地調査を行い、その結果を 3 人の共著『日本企業の新アジア経営戦略』として上梓したことが思い出されます。また、中垣先生は様々な学会でも活躍されました。とりわけ実践経営学会では第 5 代目の会長に就任され（2005 年 9 月～2008 年 8 月）、その就任期間中には学会創設 40 周年記念行事として実践経営事典の刊行、記念式典の実施及び記念基金の立ち上げ等に取り組みました。小職は事務局長として関与しましたが、中垣先生のリーダーシップと果敢な行動力に幾度となく助けられました。

中垣先生の教育熱心さは、数多くの学部及び大学院ゼミ生を輩出しているほか、留学生を含む博士号取得者を生みだしたことから垣間見ることができます。経営学理論と実践の融合を目指した中部経済同友会との産学協同プロジェクトである「経営者講座」の開講、早くから経営のグローバル化を睨んだ「ビジネスイングリッシュ海外研修」の企画と実行等は、中垣先生が先駆的な教育者であることを示しています。

中垣先生は、大学運営にも尽力されました。旧商学部経営学科から経営学部が転換改組した際の商学部長から引き続き、誕生したばかりの経営学部の学部長代理を歴任したほか、大学院では経営学研究科長のほか、前学長の小川英次先生と共にビジネス・イノベーション研究科を立ち上げ、その初代研究科長にも就任されています。本学での教育研究の要である国際センターは中垣先生が設立を提唱したものであり、その初代センター所長も務められ、ISEP を始めとして多くの海外教育機関と学術交流協定を締結されています。

このように中垣先生は研究、教育及び運営の 3 分野全てに秀でた真の大学人であり、経営学部開設から 20 年にわたる歴史は中垣先生と共にありました。定年退職された後も、経営学部が歩みを止めることなく、さらに発展していくために更なるご指導を頂くことを願っております。